

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用\_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	河本 志朗		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1202	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>DP7-L〔協働力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p> <p>DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>E1学識と専門技能 - 20%</p> <p>F1探求と論拠 - 10%</p> <p>F2問題解決 - 10%</p> <p>G1状況把握 - 10%</p> <p>K1ライティングコミュニケーション - 20%</p> <p>K2オーラル・コミュニケーション - 10%</p> <p>L1チームワーク - 10%</p> <p>M1統合的・応用的学習 - 10%</p>		
教員の実務経験	<p>担当教員は山口県警察に21年間勤務し、その間3年間外務省に、さらに3年間警察庁警備局に出向し海外安全対策やテロ対策に従事しました。その後、民間研究機関において18年間にわたり危機管理、テロ対策、組織犯罪対策の研究に従事しました。各授業回においては、こうした実務経験と研究経験を融合させた観点から、各々の学生の研究テーマの内容に応じて研究方法や先行研究に関して指導を行います。(第1回～第15回)</p>		
成績ターゲット区分	<p>■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>3 発展期 ～ 4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養うよう指導します。ここでは、問題意識を確立</p>		

	し、卒業論文につながる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知識を獲得できることを目指します。授業形態は講義演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。						
授業の趣旨	<p>■副題</p> <p>これまでに学んできた学識や技能を応用して、危機管理に関する研究テーマを自ら設定し、課題を発見し、その課題の解決に向けて必要な情報を収集し、研究を深めて卒業論文の作成に向けて発進しましょう。</p> <p>■授業の目的</p> <p>これまでに学んだ学識や技能を応用して、学生自らが問題意識を確立し、卒業論文の作成に向けて危機管理に関する個人研究のテーマを設定し、その中で問題を発見し、問題の解決に向けて研究を深めることを通じて危機管理能力を養うことを目指し、その過程において先行研究を収集することにより専門領域に関する幅広い専門知識を獲得することを目的とします。</p> <p>■授業のポイント</p> <p>履修生各自が自ら選んだテーマについて文献を収集して研究し、研究成果を発表することにより、危機管理に関する様々なテーマを多角的に評価し、危機管理の様々な領域に関する課題や幅広い専門知識を獲得し、各自の卒業論文の作成に向けたテーマの選定につなげることを目指します。</p>						
総合到達目標	<p>■これまでに学んだ学識や技能を応用して、個人研究のテーマを設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学修したことを振り返って、自らの関心分野を発見することができる。</li> <li>・自らの関心分野について具体的なテーマを複数取り上げて比較することにより個人研究のテーマを設定することができる。</li> </ul> <p>■設定した個人テーマについて自ら課題を発見し、その解決に向けて研究を深めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した個人研究テーマについて関連文献等の研究を行い、そのテーマにおける研究課題を発見することができる。</li> <li>・発見した研究課題について、その課題の解決に向けた研究方法を検討することができる。</li> </ul> <p>■個人研究テーマの課題に対する研究を深めることにより、自らの卒業論文のテーマを検討することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人研究テーマにおいて設定した課題に対する先行研究を行うことができる。</li> <li>・先行研究をさらに深めることにより、自らの卒業論文のテーマを検討することができる。</li> </ul>						
成績評価方法	<p>次の方法により成績を評価します。</p> <p>■研究発表（70%）</p> <p>（評価の観点）危機管理に関して自ら設定したテーマに関する研究発表について、研究の内容及び提示された課題の妥当性、レジュメを使用しながら分かりやすく発表ができていないか、質問に対して的確な回答ができていないかなどを評価します。</p> <p>（フィードバックの方法）授業時間中に講評します。</p> <p>■授業参加度（30%）</p> <p>（評価の観点）他の履修生が発表する研究内容や提示された課題の妥当性、課題解決に向けた取組についての相互討論の中で、自らの考えを自らの言葉で発言することによって討論に積極的に参加して議論を進め、考察を深めることに貢献できているかについて評価します。</p> <p>（フィードバックの方法）授業時間中に講評します。</p>						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	授業中は、積極的に発言することを求めますので、そのためには十分な予習をしておいてください。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の全体の構成、授業の目的と進め方、総合到達目標、成績の評価方法について理解できるようになる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。</p> <p>④復習（120分）授業を振り返り、授業の全体の構成、授業の目的及び到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論</p> <p>②授業概要 履修生各自が自ら設定したテーマについて、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の全体の構成、授業の目的と進め方、総合到達目標、成績の評価方法について理解できるようになる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。</p> <p>④復習（120分）授業を振り返り、授業の全体の構成、授業の目的及び到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。</p>	2	<p>①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論</p> <p>②授業概要 履修生各自が自ら設定したテーマについて、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。</p>
回	内容						
1	<p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②授業概要 授業の全体の構成、授業の目的と進め方、総合到達目標、成績の評価方法について理解できるようになる。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。</p> <p>④復習（120分）授業を振り返り、授業の全体の構成、授業の目的及び到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。</p>						
2	<p>①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論</p> <p>②授業概要 履修生各自が自ら設定したテーマについて、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジュメを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジュメを作成し発表及び討論に備える。</p>						



	<p>マに関する研究を深め、レジюмеを作成し発表及び討論に備える。</p> <p>④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。</p>
10	<p>①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論</p> <p>②授業概要 履修生各自が自ら設定したテーマについて、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジюмеを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジюмеを作成し発表及び討論に備える。</p> <p>④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。</p>
11	<p>①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論</p> <p>②授業概要 履修生各自が自ら設定したテーマについて、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジюмеを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジюмеを作成し発表及び討論に備える。</p> <p>④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。</p>
12	<p>①授業テーマ 履修生各自の設定した研究テーマについての発表及び討論</p> <p>②授業概要 履修生各自が自ら設定したテーマについて、関連する文献を検索・収集して研究した成果について、レジюмеを作成して発表し、討論することができる（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自ら設定した研究テーマについて、関連する文献を検索・収集しテーマに関する研究を深め、レジюмеを作成し発表及び討論に備える。</p> <p>④復習（120分）授業における発表と討論を振り返り、今後の研究に活用するため、研究発表と討論の内容を報告書にまとめる。</p>
13	<p>①授業テーマ 共同研究①</p> <p>②授業概要 ゼミナールⅡにおける共同研究発表に向けて、研究テーマを設定し、研究計画案と各自の研究分担を決定する（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）共同研究のテーマについて候補案を選定し、関連する文献を検索・収集して研究内容と課題について説明できるようにしておく。</p> <p>④復習（120分）授業において設定された研究テーマについて、自らに分担された研究に関する文献を検索・収集し研究を行う。</p>
14	<p>①授業テーマ 共同研究②</p> <p>②授業概要 ゼミナールⅡにおける共同研究発表に向けて、設定された研究テーマについての各自の研究成果を発表し、今後の研究計画案を策定する（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自らに分担された研究の成果をレジюмеにまとめ、発表に備える。</p> <p>④復習（120分）授業で策定されて研究計画案にもとづき、自らに分担された研究を続ける。</p>
15	<p>①授業テーマ 共同研究③</p> <p>②授業概要 ゼミナールⅡにおける共同研究発表に向けて、今後の研究計画を策定する（E1、F1、F2、G1、K1、K2、L1、M1）。学生の研究テーマや内容に応じて、実務経験を活かした指導を行います。</p> <p>③予習（120分）自らに分担された研究の成果をレジюмеにまとめ、発表に備える。</p> <p>④復習（120分）授業で策定された研究計画にもとづき、自らに分担された研究についての研究計画を策定する。</p>
関連科目	自主創造の基礎1 RMGT1215、自主創造の基礎2 RMGT1216、危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602、ゼミナールⅡ RMGT4602、ゼミナールⅢ RMGT4603、ゼミナールⅣ RMGT4604、と関連があります。
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	履修生の研究テーマにより異なりますので、その都度示します。
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先 開講時に告知します。</p> <p>■オフィスアワー 火曜日5時限 それ以外の時間についてはメールにて事前にアポイントを取</p>

	れば対応します。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 履修生の研究テーマにより異なります。 ■ 危機管理学と法学のバランス 履修生の研究テーマにより異なります。

